

金剛寶戒寺便り

八月一日発行 第十七号

檀信徒の皆さまこんにちは。梅雨の間に二回も台風が日本に上陸し、気候の変化が著しいですが、今年も暑い夏がやって参りました。室内でも熱中症になるそうです。エアコンを上手く利用してこまめに水分補給もしてください。

さて、七月八日に二回目の座禅体験会を行いました。この日も天候が不順でしたが約三〇名の方が参加されました。一回目の体験会で習った数息観(すそくかん)から、もう一段階進んだ阿息観(あそくかん)と言う瞑想法を実践しました。

阿息観とは真言宗独自の瞑想法です。皆さんは座禅と言うと静かな瞑想をイメージしませんか？阿息観では真言教主 大日如来の種字である「ア」と言う文字の音を「ア〜」と腹式で発声しながら瞑想します。文字に記すのは難しいですが、全ての命の根源である大日如来を感じて一体となる瞑想法とでも説明しておきます。一回の体験で全てをマスター出来るわけではありませんが、お堂の中が「阿」の響きで満たされて程良い緩やかな時間が流れました。参加者の中には瞑想時間が短く感じるの感想を述べている方もいました。

七月十二日には仏教会の暁天講座があり私は萬寿寺で禅宗の座禅体験会にも参加してきましたが、個人的な感想としては寡黙に座り

続ける禅宗の座禅よりも真言宗の座禅の方が取り組みやすい様に思いました。

今回の座禅体験会は二回で終わりですが希望者が多ければ定期講習会にしたいと思っております。感想なども聞かせて下さい。

盆供養の由来は昨年八月号に記載しましたので重複はしませんが、クローン技術等の進んだ現代でも「無」から「命」を作り出すことは出来ません。私たちは今ある「命」を生きているのではなく、先祖から繋がる「命」を生きていると言っても過言では無いと思います。今ある私たちへ、命のバトンを繋いで下さったご先祖様達が、現世での抛り所となる私たちのもとへ帰って来られるのが、お盆です。顔や名前の知らない先祖代々のご先祖様へも感謝の念を持ってお迎え下さい。

また、普段は忙しく家族が中々そろう時間が無いご家庭も、この様な時にこそ自分の希望するお葬式の有り方などを子供さん達に伝えておく良い機会かもしれません。「死」を見つめ直す事により「生」がより充実してくると思えます。

八月は恒例となっております千巻心経と供養盆踊りを行います。

平成二十七年八月二十一日(金曜日)

千巻心経 十七時から

盆踊り 十九時から

金剛寶戒寺本堂および境内において

僧侶に供養や祈願をしてもらう事もとても大切ですが、ご自身で先祖様のご供養や病氣平癒、商売繁盛などの開運祈願をすることもとても大切です。般若心経をお唱え出来ない方も輪の中に入ればご利益を頂けます。足腰の弱い方には椅子席も用意しておりますので、一度皆さんとお唱えする千巻心経を体験して下さい。特に初盆の方はお参り下さい。

平成二十七年九月八日(火曜日)

十五時から約一時間

法話の会「より良い人になる為に」

講師 弘法寺住職 吉武隆善 師

三年前、仏教会の暁天講座の当番が真言宗だった時に当山の本堂に於いてお話をしていた耶馬溪の尼僧様に来て頂きます。前回の時も大変好評でしたので記憶に有る方も多しと思えます。僧侶としてだけでなく、福祉レクリエーションワーカーや生涯学習インストラクター等の資格もお持ちですので、楽しいお話が聞けると思えます。残暑が厳しい時期だとは思いますが沢山の方のお参りをお待ちしています。

月に一回のペースで開いている講習会も次回で五回目になります。お檀家様以外の方にも大勢参加を頂いております。講師の先生も僧侶に限っていませんので、素敵なお話などをして下さる方が居ましたらご紹介下さい。些少では有りますがお礼も致します。 合掌